

タイ人から見た日本のここがビックリ！

藤井 有利

日本人である私たちが海外に出ると、文化の違いを痛感する。日本人であれば、大体同じようなことにショックを受ける。

裏返してみれば、海外の人たちから見れば、日本では常識と思っていることが同じくらいショックなはずである。今日はそんな例を紹介したいと思う。

私は以前タイの大学で日本語を教えていた。そのときの作文の授業で、習慣の違いやカルチャーショックについて書かせたことがある。さて、タイ人学生が日本について、どんなことで文化の違いを感じたか…。

ちなみにこの授業は、日本人学生との交流の中で、印象に残ったカルチャーショックについて書いてもらった。日本人学生は、日本の提携大学から夏休みを利用して、日本語教師助手として研修に来てくれたのである。また、タイ人の学生たちもほとんど全員日本に行ったことはない。だから内容はかなり偏っていることを断っておきたい。

● 日本ではバイクに1人しか乗らない（乗っても2人）

え？何がおかしい？日本ではあまりに常識だが、それが驚きらしい。タイの地方では3-4人で乗ったりしている。ヘルメットはつけない人が多い。子どもも平気で乗せる。もちろんヘルメットなし。危険極まりない。日本人から見たらそっちのほうが驚きだ。

そういえば、ヘルメットはかぶらないが、雨が降るとビニール袋を頭にかぶっているおじちゃんおばちゃんをよく見かけた。頭が濡れるとかぜをひくから頭はぬらしちゃいけないらしい。これの方が驚きである。子どもでなく、いい大人がまじめにかぶっているのである。その姿はけっこうお茶目だ。



↑ 水色のビニールをかぶって雨の中を通勤する掃除のおばちゃん

タイはバイクタクシーもたくさんある。大学の敷地内も走るから、自分たちの学部の建物まで利用する学生も多い。スカートを履いていれば当然横乗りである。私もやったことがあるがけっこうコワイ。何があっても自己責任だ。

● 日本の大学には制服がない

タイは大学でも制服がある。白のブラウスに黒のスカート（男子はズボン）。スカートは黒ならなんでもいらしく、ピチピチのタイトを履いてくる子もいれば、リクルート丈のスカートの子もいるし、プリーツ、フレアー、すけばんスカート、なんでもありである。ここらへんは統一されていないのが日本人には不思議な感じである。



↑ 大学生の制服。冬なので上着を着ている。

ちなみにオカマの多いタイであるが、大学の文系も然りである。オカマの学生は二通りあり、完全ズボン派とスカート派にわかれる。ズボン派は文字通り姿は男子学生である。しかし持ち物や髪飾りがビミョーに一般男子とは違う。スカート派も最初はズボンだが、あるとき突然スカートデビューするのである。1年の早い段階でデビューする子もいれば、3-4年になって突然目覚めてデビューする子もいる。スカートデビューの日は教室がどんな騒ぎになるかは想像に難くない。



↑ 大学のロイカトーン(灯籠祭り)でのオカマコンテスト。タイでは美しいだけでなく、一芸できないといけない。



↑ バイニアパーティー(4年生を送る会)での下級生の出し物は、男子学生の女装だった。

● 日本ではお風呂のお湯を捨てないで、みんなで使う

日本では、一人ずつ水を入れ替えせず、家族みんなが同じお湯に入る。タイはそもそも風呂釜がない。あっても欧米式の風呂である。これについては生徒の一人が日本で大きなミスをした。ホームステイした際、一番最初にお風呂をいただいたが、お風呂を出るときにお湯を全部ぬいてしまったそうである。いやいやホストファミリーもびっくりしただろう。

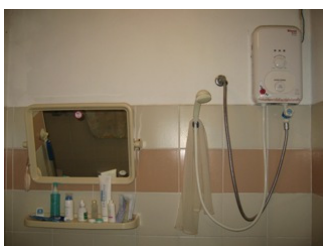
★★

なるほど、文化が違うのだから、こういうことにカルチャーショックを受けるのも無理はない。私だって逆にカルチャーショックを受ける。それでは次に多かった意見を見てみよう。

● 日本人は朝シャワーを浴びない

タイでは朝晩2回水浴びする。朝の水浴びを大切にしている、冬でも浴びる。タイの冬はけっこう寒い。とても水なんか浴びられない。たまに寒さに負けて浴びない子もいるらしいが、朝シャワーを浴びてこなかったなんてことが友だちにばれたら大変なことになるらしい。

ちなみに私は冬浴びてなかった（部屋には当然給湯器があったが、寒いのに浴びてカゼをひくといやだし、そもそも私は日本人だから）・・・が、一応そのことはみんなに内緒にしていた。



↑ 洗面所。給湯器は備え付けではなく、自分で買って、つけてもらったもの。



↑ 冬は寒い。窓を閉め、ありったけの寝具を使って寒さをしのいで寝ていた。

● 日本人は海でビキニ（水着）を着る

タイでは海に入るときは服のまま入る。だから人前で水着姿になるのはとても恥ずかしいことなのである。ましてビキニなんて言ったらもうっ～、なのである。私から見れば、タイ人の、サロンという布を巻いただけで川に入ったりするほうが、よほど恥ずかしい気がするが…。



↑ タイ人でにぎわうビーチ。



↑ みんな服を着て入る。



↑ 注目
↑ ビーチの屋台で。エビ・カニ・貝に……カブトガニ! ?

● 日本人はご飯を食べるとき音をたてる

これはスープや麺を食べるときのことである。あの、ズズーという音である。タイではマナー違反で、小さいときからしつけられるらしい。

じゃあ、タイでは麺はどう食べるのか。タイでも麺を食べるときは中華で使うようなレンゲを使うが、もうひとつ、普段あまり使われないお箸が出番になることが多い。あまり上手に使えないお箸を駆使して、レンゲの上のせ上手にまとめて、パクッと食べるのである。タイでは、麺は「ツルツル」ではなく、「パクパク」食べるのである。



↑クイティアオ(米の麺)。箸に巻きつけて食べる人もいる。

● 日本では温泉に裸で入る

男女別れているから恥ずかしくないよと言っても、多くのタイ人がこれにはショックを受ける。裸で他人と風呂に入るのが恥ずかしいのである。家族の間でさえ、ありえないという。「友達となんて、もう絶対ムリムリ！」と口をそろえる。

そういえば日本への短期研修旅行にいけることになった成績優秀な男子学生がいたが、日本に行ったらぜひ温泉に入ってねと言うと、真顔で「ぼくは水着を着て(=海パン履いて)入ります」と言っていた。そっちの方が恥ずかしいよ。

★★

そして最後にもう一つ紹介しよう。実はけっこう意見の多かったのが次なのである。私にとっては衝撃的な内容であった！

● 日本では、女の人は腕や足の毛をそる

これについて、タイでは毛があったほうがセクシーな感じがしますという意見。日本に行ったら、「郷に入りては郷に従え」で私もそうしますという意見もあった。「私の消したいもの」という作文で、みんな自分のいやなものや恥ずかしい思い出などを書いていたら、オカマの学生が「私の毛を消したいです」と書いていた。彼女にとっては真剣な悩みであったようだ。

★★

…何が衝撃だったかといえば、学生がこんなことを作文に書くことである！地方大学とはいえ、一応国立である。バンコクの大学には劣るものの、タイではエリートの学生だ。どんな高尚な内容が出てくるかと思いきや……「毛」である。

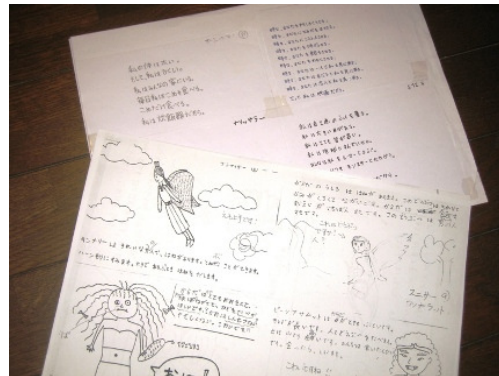
しかし考えてみれば、他にも「タイの国民性」「タイの社会問題」「タイのことわざ紹介」などの興味深い作文を書かせたにもかかわらず、この作文の授業について何年経っても強烈に印象に残っているのは、この「毛」であることも事実なのであった。 (終)

おまけの写真

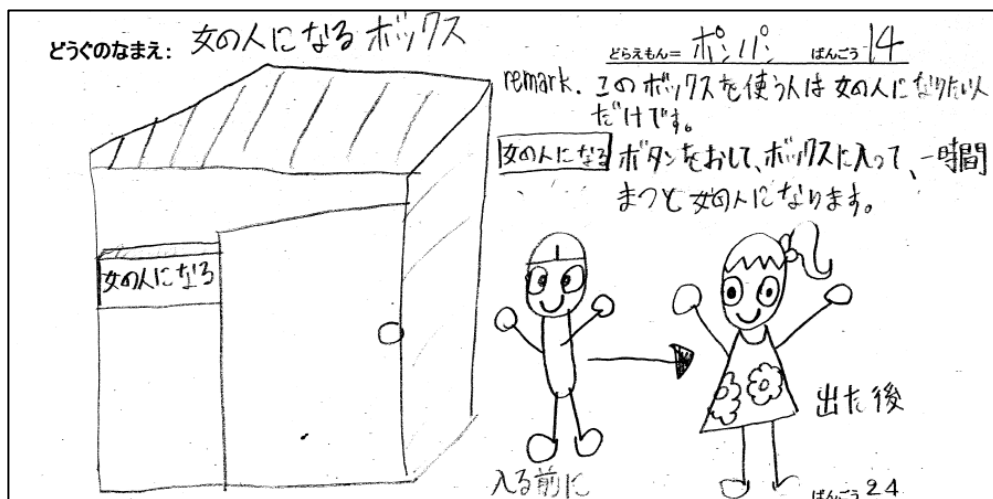
● 作文（Japanese Writing）の授業



↑ 学生が提出した作文は添削後すべてコピーして持ち帰った。今ではいい宝物である。



↑ 詩を作ったり、絵つきでタイの想像上の生き物を紹介したり。日本の漫画に親んでいるからか、絵を描くのはみんなけっこう上手だ。



↑ 1年生の教室活動。ドラえもんに自分の望みを伝え、その望みをかなえる道具を出してもらって設定。みんな面白い道具を考えてきた。

↓ 学生の作った詩。3つ目（一番右）の詩の「私」はなんでしょう？（答えは一番最後に）

私の体は太い。
そして、私はひくい。
私はみんなの家にいる。
毎日私はごはんを食べる。
ごはんだけ食べる。
私は炊飯器だから。

さびしいとき、私のところに来て。
悲しいとき、私のところに来て。
たれもないとき、私のところに来て。
どすなときでも、私はここにいる。
だって私は あなたの友達だから。

私は白と赤のふくも着る。
私は大きい目がある。
私はとても背が高い。
私は地球にすんでいい。
みんなは私をヒーローとよぶ。
私はいつも モンスターとたたかう。

● おもしろ学生生活



↑ 日本語学科が主体で行う「日本祭」でのコスプレ。私はよく知らないのだが、セーラームーンだそう。日本語学科以外の学生でもコスプレ好きが参加した。日本の文化には敏感である。



↑ お手伝いロボット開発プロジェクトのプレゼンテーション。プレゼンは成績に大きく影響するので、みんな準備に余念がない。場を盛り上げるための余興にも力が入り、なぜか踊る踊る。(←が、成績には関係ない)



↑ 卒業式の日々の早朝。卒業したもと4年生(中央ガウンを着ている)と1年生。初めての先輩後輩の顔合わせ。

4年生は3月に後期が終わり卒業となるが、卒業式はなんとその年の10-12月に行く。国立大学では王族が卒業証書を手渡す。だから卒業生にとって大きな晴れ舞台だ。卒業式の1週間ほど前から会社にお休みをもらい、大学にもどってきて卒業式の練習をする。卒業式の日には家族のみならず親戚もやってきて、屋台も出てお祭り騒ぎである。

1年生は正式な制服を着ているが、これは道路に並んで王女様をお迎えするため。

式典には卒業生と教職員が参加し、家族も在学生も入れない。相当厳かな雰囲気で行われるらしい。私は・・・せっかくの機会であったが、4時間トイレに行けない状況には耐える自信がなく、参加を見合わせた。そんな人のために大人用オムツも出回るとか。

詩のこたえ:

だって 私は ウルトラマンだから。